



地域の力で 実感を伴った 直接的な体験が 実現！

文部科学省は中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 技術・家庭編の中で、「幼児の生活と家族」を取り上げ、幼児の発達と生活の特徴、幼児にとっての遊びの意義、幼児との関わり方等を具体的な内容として示しています。そして、指導に当たっての留意点として、「地域の実態に応じて、子育て支援などの関係機関や子育てサークルの親子などとの触れ合いや、教室に幼児を招いての触れ合いを工夫するなど、可能な限り直接的な体験ができるよう留意する。さらに、幼児と触れ合うことの楽しさやよさを実感できるように配慮する。」と述べています。

本号では、関係機関が中心となり、中学生と乳幼児の自由でゆったりとした触れ合いを実施している川下中学校と岩国西中学校を紹介します。

赤ちゃんと中学生のふれあい体験 <3年生>

【川下中】 ●家庭教育支援チーム[チームほっとちゃん]が中心となって

10/26, 27…出前授業「乳幼児との関わり方やふれあいの時の注意点」

<連携…岩国短期大学幼児教育科>

11/1, 2 …赤ちゃんと中学生のふれあい体験 <中学生は家庭科学習として>

<連携…母子保健推進員, 岩国市子ども家庭課母子保健班>

とにかく、めちゃくちゃ可愛いです。
<中学生>



抱っこできました。泣かなくてよかったです。<中学生>

とても楽しくて、45分はあっという間でした。
<中学生>

母子保健推進員のメンバー



【岩国西中】 ●岩国市中央公民館 北河内・南河内分館が中心となって

11/7 ……公民館講座「中学生と乳幼児のふれあい体験」 <中学生は家庭科学習として>

<連携…北河内認定こども園, 母子保健推進員, 岩国市子ども家庭課こども家庭センター>

乳幼児をもつ家庭が少ないため、認定こども園を会場としてお願いしたり、参加者を公民館だよりで募集したり、母子保健推進員と連携したり、コーディネート役として北河内・南河内分館は大活躍でした。



国際色豊かだな。遊びは万国共通なのだな。<中学生>

作ってきた遊び道具、こんなに喜んでくれて本当に嬉しい。よかった。<中学生>

どちらの会場も、生徒ばかりでなく、親もわが子の楽しそうな姿を見て、とても喜んでいました。中学生は、乳幼児を観察したり、一緒に遊んだりするなどの直接的な体験で、遊びの意義や乳幼児との関わり方を実感を伴って理解できたようです。本物にふれることができるということ(実体験)も、地域連携教育の魅力の一つです。

